

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2019年 32週 (8月1週 8/5~8/11)

2019年 7月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### ◇トピックス

RSウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、風しん、エボラ出血熱に関する緊急事態宣言、夏休みの海外渡航者に対する感染症予防啓発、蚊媒介感染症並びにダニ媒介感染症の予防啓発、保育所における感染症対策ガイドライン

### ◇定点医療機関コメント

手足口病、RSウイルス感染症、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌感染症、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ等

### ◇全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(22)、腸管出血性大腸菌感染症(3)、チクングニア熱(1)、レジオネラ症(5)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)、急性弛緩性麻痺(1)、急性脳炎(2)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(2)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(6)、百日咳(14)、風しん(1)

### ◇2019年7月報

### ◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### ◆RSウイルス感染症 (図1)

32週の定点当たり報告数は0.69、31週117人→32週125人で、2歳未満(0歳34人、1歳56人)の報告数が全体の72.0%を占めています。

【参考ページ】RSウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

### ◆伝染性紅斑 (図2)

伝染性紅斑はヒトパルボウイルスB19の感染による「リンゴ病」と呼ばれることもある疾患です。32週の定点当たり報告数は0.80、31週193人→32週145人(0.75倍)です。

### ◆手足口病 (図3)【7月4日警報発令】

32週の定点当たり報告数は4.25、31週1,927人→32週773人(0.40倍)です。病原体は全国的に流行しているCV(コクサッキーウイルス)-A6型などが検出されています。

【参考ページ】手足口病警報を発令します!! (7月4日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/hfmd-20190704.html>

手足口病に関するQ&A (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

### ◆風しん (8月14日現在、診断日集計)

愛知県の2019年風しんの累積報告数は51件(うち4月7件、5月10件、6月3件、7月2件、8月1件)です。愛知県の2018年風しんの総報告数は119件、2017年総報告数は3件でした。全国の2019年31週(診断週)までの累積報告数は2,061件、2018年総報告数は2,917件です(2017年総報告数は91件)。

【参考ページ】本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2019)

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl\\_2019.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2019.html)

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi\\_4.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html)

風しん抗体検査とワクチン接種のお知らせ

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000070318.html>

### ◆コンゴ民主共和国におけるエボラ出血熱に関する世界保健機関(WHO)の緊急事態宣言について

【参考ページ】エボラ出血熱について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708.html>

### ◆夏休みの海外渡航者に対する感染症予防啓発について

【参考ページ】夏休みの海外渡航者に対する感染症予防啓発について(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000524734.pdf>

海外へ渡航される皆さまへ!(厚生労働省検疫所) <https://www.forth.go.jp/news/20190409.html>

### ◆蚊媒介感染症並びにダニ媒介感染症の予防啓発について

【参考ページ】蚊媒介感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

ダニ媒介感染症(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

### ◆保育所における感染症対策ガイドラインについて

【参考ページ】保育所における感染症対策ガイドライン(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/0000201596.pdf>

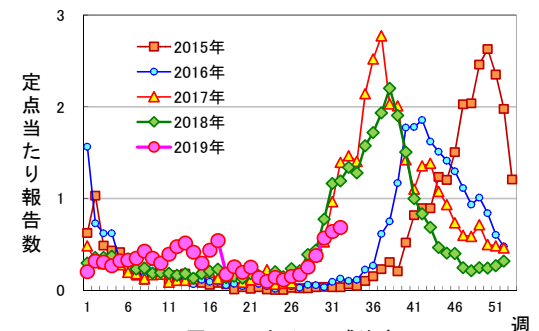


図1 RSウイルス感染症

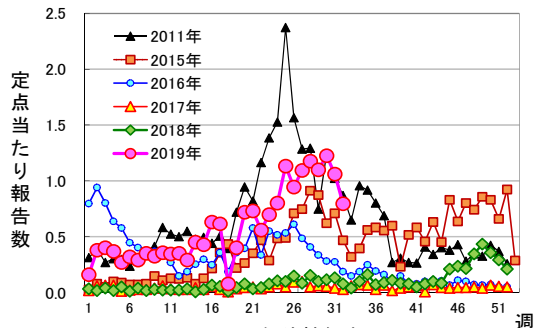


図2 伝染性紅斑

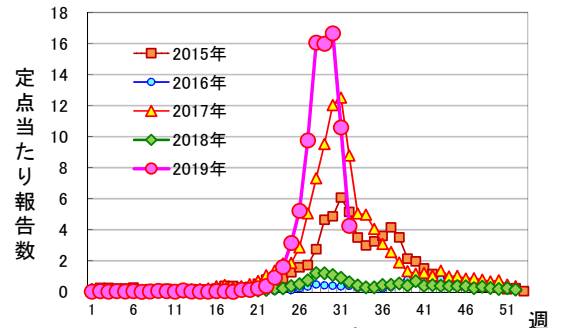


図3 手足口病

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

伝染性紅斑あり

【一宮市 後藤小児科医院】

手足口病少なくなりました。

溶連菌感染症 4名

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

ヘルパンギーナ減少しています。

手足口病も減少

RS 続発中

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

手足口病は27名、今週になって急激に減少しました。

【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】

尾張東部地区

手足口病、ヘルパンギーナ流行続いていますが、少し減少傾向です。

溶連菌感染症、少数ですが持続的にみられます。

幼児アデノウイルス少し目立ちます。

その他、伝染性紅斑等

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザ陽性報告 2件(小児2名、A型)

RS ウイルスが少し増えてきました。

【春日井市 春日井市民病院】

夏かぜ減少傾向

伝染性紅斑 5例

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

RS ウイルス感染がみられます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

11歳男 マイコプラズマ

11歳男 カンピロバクター(+)

手足口病 4名

ヘルパンギーナ 2名

【大府市 まえはらこどもクリニック】

アデノウイルス感染症 3名(4、5、6歳)

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

hMPV 1歳女

*E. coli*(O25) 8歳男

StrepA(+) 5歳男 6歳女

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

インフルエンザA 1名

サルモネラO4 2歳児

【岡崎市 にいのみ小児科】

インフルエンザA型 2名

【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】

東三河地区

RS ウイルス感染症の子が時々います。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2019年8月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun190401.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2019年32週報告数			2019年総計(1～32週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	6	3		368	89	102
豊田市	1			46	4	21
豊橋市	4		3	48	6	27
岡崎市	1			18	6	2
一宮	1	1		49	10	17
瀬戸	1			80	21	28
半田				22	7	7
春日井	1			70	13	29
豊川				19	2	3
津島				43	6	8
西尾				16	2	5
江南				26	3	9
新城				1	1	
知多	1			38	6	15
清須	3			28	9	5
衣浦東部	3	2	1	54	15	11
合計	22	6	4	926	200	289

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	43歳	男	7/28	7/30	8/3	O157、VT1(+) VT2(+)
2	名古屋市	2歳	男	7/31	8/2	8/7	O157、VT1(+) VT2(+)
3	西尾	12歳	女	8/3	8/5	8/7	O157、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

チクングニア熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	瀬戸	24歳	男	ミャンマー

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	豊橋市	77歳	男	肺炎型	国内
2	瀬戸	66歳	男	肺炎型	国内
3	春日井	78歳	男	肺炎型	国内
4	津島	50歳	男	肺炎型	国内
5	江南	66歳	男	肺炎型	不明

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	一宮	77歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	64歳	男	不明	不明	無
2	名古屋市	70歳	女	以前からの保菌	国内	無
3	名古屋市	43歳	男	院内感染	国内	無
4	瀬戸	78歳	男	医療器具関連感染	国内	無
5	春日井	80歳	女	医療器具関連感染	国内	無
6	豊川	79歳	男	不明	国内	無

急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	ポリオ含有ワクチン接種歴	感染地域
1	豊田市	2歳	女	病原体不明	有	国内

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	7歳	男	病原体不明	国内
2	名古屋市	2歳	女	病原体不明	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	名古屋市	78歳	女	古典型

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染地域
1	豊田市	76歳	男	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	56歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	43歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	知多	2歳	男	有	国内
2	衣浦東部	84歳	男	不明	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	1歳	男	有	国内
2	衣浦東部	72歳	男	不明	不明
3	衣浦東部	2歳	女	有	国内

水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	6歳	女	有	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	20歳	女	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	25歳	女	無症候	性的接触	国内
3	岡崎市	20歳	女	無症候	性的接触	国内
4	一宮	52歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	春日井	27歳	女	早期顕症	性的接触	国内
6	春日井	22歳	男	早期顕症	性的接触	国内

百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	8歳	女	有（追加接種有）	不明
2	名古屋市	36歳	男	不明	不明
3	名古屋市	0歳	女	無	国内
4	名古屋市	0歳	女	有（3回）	家族内感染
5	豊橋市	41歳	女	不明	国内
6	岡崎市	4歳	女	有（3回）	国内
7	半田	41歳	男	有（1回）	国内
8	春日井	8歳	男	有（追加接種有）	流行有（学校）
9	春日井	10歳	女	有（追加接種有）	家族内感染、 流行有（学校）
10	春日井	8歳	男	不明	家族内感染
11	春日井	53歳	女	不明	国内
12	春日井	11歳	女	有（追加接種有）	流行有（学校）
13	衣浦東部	44歳	男	不明	不明
14	衣浦東部	8歳	女	有（追加接種有）	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	津島	40歳	男	不明	インドネシア

## 7月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔( )は無症状病原体保有者再掲〕

2018～2019年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数	2019年7月			2019年	2018年		
	愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>		
一類 (7) 発生報告なし	0	0	0	0	0		
二類 (7) 結核	91 (28)	67 (15)	158 (43)	895 (276)	1,556 (420)		
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	6 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	28 (14)	12 (4)	40 (18)	87 (27)	154 (46)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	
四類 (44)	E型肝炎	2	0	2	4	6	
	A型肝炎	0	1	1	8	35	
	エキノコックス症	0	0	0	0	1	
	オウム病	0	0	0	1	0	
	チクングニア熱	4	0	4	5	1	
	つつかが虫病	0	0	0	0	2	
	デング熱	0	1	1	12	22	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1	
	マラリア	0	0	0	0	2	
	類鼻疽	0	0	0	0	1	
	レジオネラ症	25	8	33	98	162	
	レプトスピラ症	0	0	0	0	1	
	五類 (24)	アメーバ赤痢	3	1	4	34	45
		ウイルス性肝炎	0	1	1	4	7
内訳		B型	0	1	1	4	6
		その他	0	0	0	0	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症		17	6	23	89	156	
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)		1	0	1	4	11	
急性脳炎		0	4	4	46	39	
クロイツフェルト・ヤコブ病		2	0	2	4	3	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		0	3	3	31	44	
後天性免疫不全症候群		0	9	9	55	97	
内訳		無症候性キャリア	0	8	8	41	70
		AIDS	0	1	1	12	24
		その他	0	0	0	2	3
ジアルジア症		0	0	0	1	3	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	0	1	23	33	
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	1	1	5	4	
侵襲性肺炎球菌感染症		13	4	17	156	212	
水痘(入院例に限る。)		2	0	2	14	28	
梅毒		16	20	36	208	454	
内訳		無症候	4	7	11	64	125
		早期顕症	12	13	25	140	315
		晩期顕症	0	0	0	4	14
		先天梅毒	0	0	0	0	0
播種性クリプトコックス症		1	0	1	9	17	
破傷風	1	0	1	1	5		
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2		
百日咳	46	31	77	394	431		
風しん	2	1	3	51	119		
麻しん	0	1	1	40	37		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	0	1	1	0		
総計	257	171	428	2,287	3,700		

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2019年7月			2019年 累計		2018年 総計			
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計		愛知県全体 合計			
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	27	69	96	570	967	894	1,575
		女	48	30	78	397		681	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	8	17	25	150	325	242	578
		女	24	15	39	175		336	
	尖圭コンジローマ	男	11	20	31	155	197	217	322
		女	5	1	6	42		105	
淋菌感染症	男	15	44	59	324	373	552	630	
	女	7	1	8	49		78		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		73	8	81	588		984	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		6	1	7	64		120	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2		2	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2019年7月			2019年 累計		2018年 総計	
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体	
エキノコックス症の犬	0	0	0	0		3	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。



愛知県感染症情報

2019年32週(2019年8月5日～2019年8月11日)

愛知県衛生研究所

	定点数						インフルエンザ 定点	小児科定点									眼科定点		基幹定点					疑似症 定点		
	インフル エンザ	小児科	眼科	S T D	基 幹	疑 似 症	インフル エンザ (鳥インフル エンザ及び 新型インフル エンザ等感 染症を除く。)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	ク ラ ミ ジ ア 肺 炎 (オウ ム 病 を 除 く。)	感 染 性 胃 腸 炎 (病 原 体 が ロ タ ウ イ ル ス で あ る も の に 限 る。)	イン フル エン ザ に よ る 入 院 患 者	法(※)第14条第1項に規定する 厚生労働省令で定める疑似症
愛知県 (保健所別)																										
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	15	44	19	125	42	138	364	25	773	145	44	179	10	0	12	0	1	10	0	0	0	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	28	8	98	24	99	245	20	548	108	34	109	6	0	3	0	1	5	0	0	0	0
名古屋市	70	70	11	15	3	16	11	27	18	39	119	5	225	37	10	70	4		9			5				
瀬戸	9	9	2	3	1	3	1	8	1	7	7	3	41	11	2	11	1		1			1				
津島	7	7	2	2	1	2		2	1	2	16	1	22	10	2							1				
清須	4	4	1	1				3		2		1		2		1										
一宮	16	12	3	4	1	2		11		13	25		64	13	4	4	1									
春日井	9	9	2	3	1	3	2	7	2	6	7	4	52	25	1	21	1					1				
江南	6	6	1	2		2		9	1	21	29	3	61	4	6	16										
半田	6	6	1	2	1	1			5	5	23		17	8	1	5										
知多	7	7	2	2		3		6	1	5	17	4	42	12	1	7										
岡崎市	11	7	2	4	1	2	3	1		6	2	3	21	4	1	2										
衣浦東部	13	13	2	4	1	3	2	10	9	15	39	1	61	11	8	8	1									
西尾	5	5	1	2	1					1	3		1													
豊田市	9	9	2	4	1	4		1		3	42		50	2		14			2							
豊橋市	12	8	2	4	1	2		23		9	29		77	6	6	9	1									
豊川	9	8	1	2	1	1		15	3	3	6		37		2	9	1				1	1				
新城	2	2			1			2	1	1			2			2						1				

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律



愛知県感染症情報

2019年32週(2019年8月5日～2019年8月11日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	インフルエンザ 定点	小児科定点										眼科定点		基幹定点						疑似症 定点
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに 限る。)	インフルエンザによる入院患者	法(※)第14条第1項に規定する 厚生労働省令で定める疑似症
計	8	98	24	99	245	20	548	108	34	109	6	0	3	0	1	5	0	0	0	0
～6ヶ月		7			3		9			3										
～12ヶ月		19	2	1	19	1	43		10	6										
0歳																				
1歳		47	1	2	40		167	5	21	25										
2歳	1	19	2	6	27		111	10	1	22					1					
3歳		5	5	5	24	4	59	18		18										
4歳	3	1	4	12	28	1	53	14	2	16	1				1					
5歳	1		3	20	15	3	35	17		5	1									
6歳			1	16	5	2	22	19		8	1									
7歳			3	11	14	3	14	11		1	2		1							
8歳				7	14	4	10	6		2	1									
9歳				5	5		5	2		1										
5歳～9歳															1					
10歳～14歳			2	10	15	2	11	5		1				1	2					
15歳～19歳				1	3		1													
20歳～			1	3	33		8	1		1										
20歳～29歳																				
30歳～39歳	1																			
40歳～49歳	1											1								
50歳～59歳	1																			
60歳～69歳												1								
70歳～																				
70歳～79歳																				
80歳以上																				

※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

# グラフ総覧

## 2019年32週(8月5日～8月11日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2019年32週までの定点(基幹・インフルエンザ・小児科・眼科)当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

\*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> \*ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

